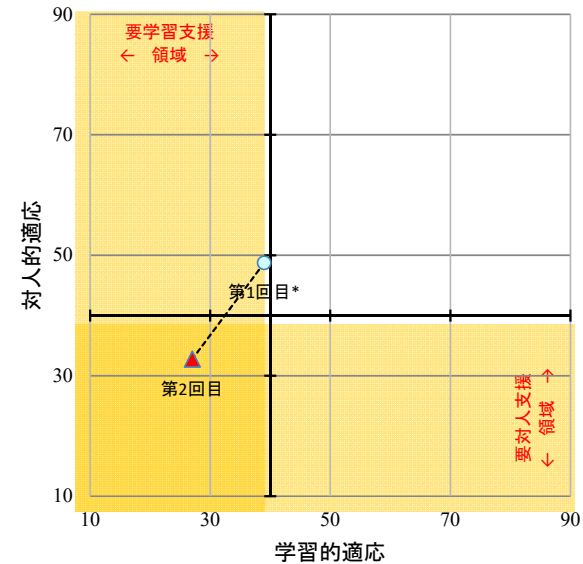
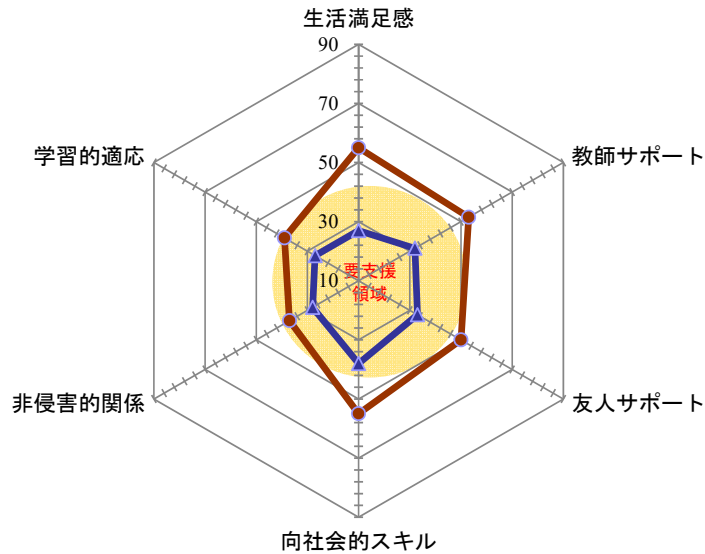


個人特性票(5年1組4番)0

	適応次元	第1回目*	第2回目	第3回目	最終回のコメント	適応次元の特徴
	生活満足感	55	27		生活全般への適応感がかなり低くなっています。他側面の適応や学校外での生活を含めて、早急な支援が必要です。	生活全体に対して満足や楽しさを感じている程度で、総合的な適応感を示します。
対 人 的 適 応	教師サポート	53	32		教師からの支援感がやや低くなっています。声かけなどを通し様子を確認しましょう。	担任の支援があるとか、認められているなど、担任との関係が良好だと感じている程度を示します。
	友人サポート	50	33		友だちからの支援感がやや低くなっています。友だち関係を確認しましょう。	友だちからの支援があるとか、認められているなど、友人関係が良好だと感じている程度を示します。
	向社会的スキル	55	38		友だちにかかわる力がやや低くなっています。友だちとのかかわりを確認しましょう。	友だちへの援助や友だちとの関係をつくるスキルをもっていると感じている程度を示します。
	非侵害的關係	37	28		否定的な友だち関係がかなり見られます。友だちとのかかわりの確認、早急な支援が必要です。	無視やいじわるなど、拒否的・否定的な友だち関係がないと感じている程度を示します。
	学習的適応	39	27		学習への適応感がかなり低くなっています。学習方法などについての早急な支援が必要です。	学習の方法もわかり、意欲も高いなど、学習が良好だと感じている程度を示します。

*) 回答に矛盾や防衛的反応が見られ、結果が正確でない可能性があります。



注) 得点は標準化した「適応度」で、高いほど適応的であることを示します。左のチャートは、6次元での適応を示し、カラー線が外側に広がるほど、適応しています。オレンジの領域は要支援領域(<40)です。右のプロットは、学習的適応と対人的適応次元での適応を示し、右上ほど適応しています。それぞれオレンジの領域は要支援領域(<40)です。マーカーは、生活満足感の適応度で、要支援は赤の△(<30)とオレンジの◇(<40)で、適応群は緑の○(≥40)青の○(>50)で示してあります。グラフの読み取り方は、解説書2章、3章を参照してください。